

令和8年度 沖縄県観光功労者表彰 被表彰者一覧

番号	ふりがな 氏名 (敬称略)	年齢 (R8.8.1 時点)	職業又は 団体職	推薦 機関	表彰理由
表彰状対象者 3者					
1	いっばんざいだんほう じんおきなわちゅらしま ざいだん 一般財団法人 沖縄美ら島財 団	50	-	本部町	1976年の発足以来、海洋博公園や沖縄美ら海水族館、首里城公園等の管理運営を担い、沖縄観光の発展に多大なる貢献をしてきた。動植物や歴史文化の調査研究に加え、文化財の収集・復元や自然環境の保全に尽力し、沖縄の豊かな価値を後世へ継承・発信することに大きく寄与している。また、魅力的なイベントの継続開催により、公園入園者数1億人、水族館入館者数6,000万人を達成するなど、極めて高い集客実績を誇る。本年、設立50周年と首里城正殿の完成を迎え、2030年の観光目標達成に向けて今後も沖縄観光を力強く牽引する存在として、その功績は誠に顕著である。
2	しまぶくろ たかし 島袋 隆	75	中部観光バス(株)代表取締役会長	沖縄市	平成15年から観光バス事業に携わって以来、多年にわたり沖縄県バス協会や沖縄観光コンベンションビューローなどの理事を歴任し、安全で快適な観光輸送の発展と本県観光の振興に尽力してきた。その功績は誠に顕著である。
3	ちねん ゆうきち 知念 勇吉	79	与那原まちづくり推進協議会 元会長	与那原町	約13年にわたり「与那原まちづくり推進協議会」の副会長及び会長を歴任し、地域の景観美化と観光資源の保全に継続的に尽力してきた。町内各所への植栽活動を通じて来訪者へのおもてなし環境を創出するとともに、加盟団体と連携した町内美化清掃事業を10年以上継続して実施し、地域全体の環境美化意識向上に大きく貢献した。さらに、令和7年度には「与那原町サンゴと海の保全協議会」に加入し、海洋環境の保全活動にも取り組むなど、陸から海へと幅広い観光資源の保護に注力している。地域に根差した環境美化と観光振興を一体的に推進してきたその功績は誠に顕著である。